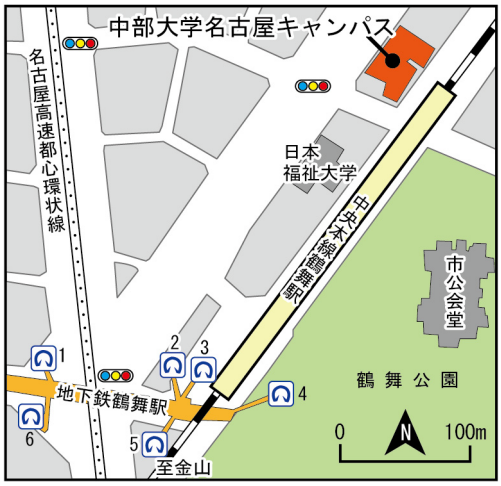
名古屋地理学会シンポジウム

地図を正しく作成し利用するには

日時：2017年10月21日（土）
午後1時30分～4時30分

会場：中部大学名古屋キャンパス
（JR中央本線 鶴舞駅前）



JR 中央本線鶴舞駅北口（名大病院口）すぐ
名古屋市営地下鉄鶴舞線鶴舞駅 2 番・3 番出口北 200m
駐車場ははございません

パネラー（五十音順）

木下三郎氏（春日井市・総務部情報システム課）［春日井マップ管理運営］

近藤暁夫氏（愛知大学・文学部人文社会学科）［経済地理学・地図活用］

渡部展也氏（中部大学・人文学部歴史地理学科）［地理情報システム］

シンポジウム開催の趣旨

紙の地図から電子地図に至るまで，現代社会において地図はなくてはならない存在です。地表上の一部分を点，線，画像などによって表現する地図は，作成者の意図にもとづいてつくられています。利用者はその意図を理解し，活用目的にふさわしい地図を選んでいると思われます。しかし中には作成者の意図が十分に理解されていなかったり，求める地図が手に入りにくかったりすることがあります。また本来，正確であるべき地図が何らかの理由で誤って作成されている場合もあります。高校や大学など教育の現場で，あるいは市民の日常生活の中で，地図サービスの提供者と利用者の間にミスマッチがあったり，地図に誤りがあったりすることは避けたいものです。今回のシンポジウムでは，教育現場や自治体の部署で日頃から地図と深く関わっている専門家に集まっていただき，「現代社会における地図利用の諸課題」について話し合っていただきます。地図にご関心のある方は，是非，ご参加下さい。